



ICE クライメート・トランジション分析データ：

## 削減貢献量

### 概要

削減貢献量は、ゼロ・エミッション車、再生可能エネルギー、廃棄物管理など、製品のライフサイクルやバリューチェーン以外で、製品を使用することにより発生する排出の削減量のことです\*。アセットオーナーや資産運用会社は、削減貢献量評価を用いて、自身の投資がどれだけ低炭素経済に向けて移行しているか、あるいはサステナビリティへの前向きな影響力を持っているかを評価することができます。削減貢献量の評価は、アセットオーナーや資産運用会社がリスクを管理し、指数を作成し、クライメート・トランジションに関連した機会を特定することを可能にし、報告の一助になります。

セクター別モデルの一環として、ICE は排出量データセットに掲載されている企業の削減貢献量推定値を提供しています。ICE の削減貢献量の計算方法は、業界のベストプラクティスに沿っており、クライアントのニーズに合わせてテーラーメイドされます。セクター固有の削減貢献量モデルとともに、企業／商品固有のモデルも提供しています。

### セクター別モデル

削減貢献量を計算するのに使用する ICE のセクター別モデルは、セクター別のインプットと企業の経済活動の範囲での売上高比率を考慮に入れて、削減貢献量に関連するビジネスラインの割合を推定します。こうした計算は、正味炭素排出量の報告とクライメート・トランジション機会の特定にご利用いただけます。

当セクター別は、ICE クライメート・トランジション分析データを用いて、クライアントのポートフォリオに組み入れられている有価証券の削減貢献量を定量化します。

## カバレッジ

ゼロ・エミッション車、断熱製品、廃棄物管理など気候変動に対する解決策を提供する 40 以上のセクター。当モデルは、銘柄、業種またはポートフォリオのレベルで利用可能です。以下は、カバーする一般的セクターの一部を示すリストです。

- 農業化学品
- アルミニウム・先進素材
- 公益事業
- 半導体装置・アナログ IC
- クリーン電力とスマートグリッド
- 自動運転車
- ベースメタル
- バイオ燃料
- 建築用製品商用車（電気トラック）
- 燃料電池・産業用バッテリー
- 断熱製品
- 水素エネルギー設備
- 自動車バッテリー
- 廃棄物管理
- ゼロ・エミッション車
- ゼロ・エミッション車部品とインフラ
- 太陽エネルギー設備
- 風力エネルギー設備
- 代替肉
- その他の採掘鉱物
- 公害防止設備
- 送配電設備

\* 世界資源研究所（WRI）の GHG プロトコルによる

## セクター別削減貢献量の事例

カーボンセービングは、送電網の平均よりも炭素排出量が少ないグリーンな電力生産によって、あるいは所与の産業分類の中で企業の製品またはサービスが平均以上の炭素排出量削減を達成することによって実現できます。

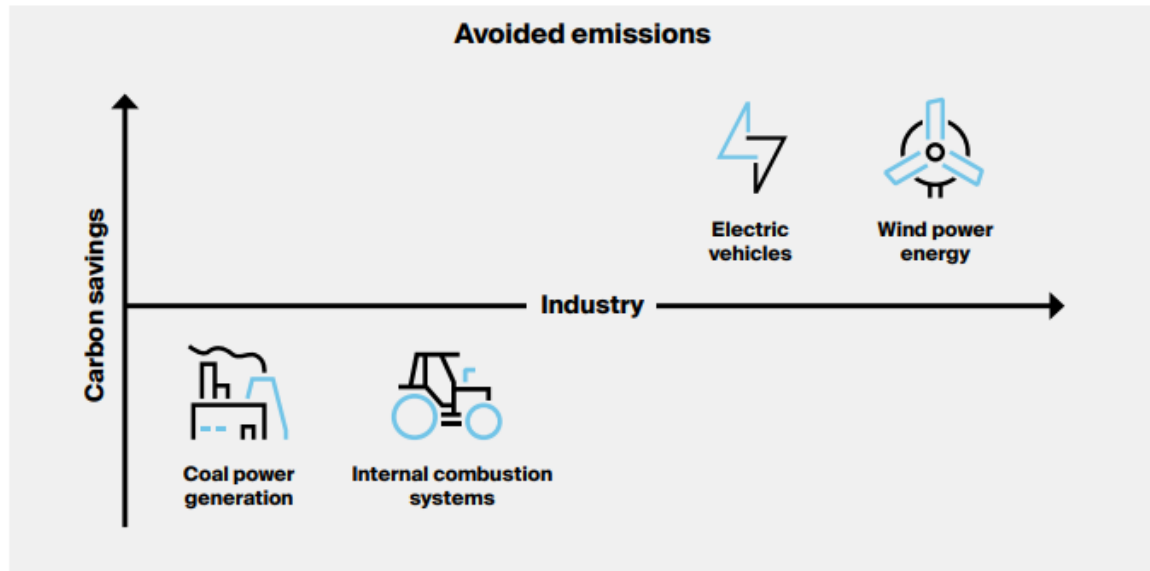


Image 1: An illustration of potential relative avoided emissions at industry level. Source: ICE

## 企業別モデル

ICEの企業別モデルは、モデルを構築する際にライフサイクル評価原則に従うミッション・イノベーションによる削減貢献量フレームワークに沿っています。ライフサイクル・アプローチにより、過去を振り返りつつ将来の潜在的削減貢献量の推定が可能になります。

この企業別モデルは、[ICE クライメート・トランジション分析データ](#)を用いて、投資の意思決定と報告向けにテーラーメイドされています。当モデルは製品やサービスのレベルで構築され、企業やポートフォリオのレベルへと集計することができます。

セクター別モデルと同様に、企業別モデルもクライアントのニーズに合わせてテーラーメイドが可能です。

## 企業別モデルのプロセス

1. 削減貢献量メカニズムの特定
2. マテリアリティ評価（削減貢献量は企業の排出量に照らして重要ですか）
3. データの見直し（企業別またはライフサイクル評価データの利用可能性）
4. ライフサイクル評価モデリング
5. 比較可能なシナリオの開発
6. 結果、メソドロジーの書き起こし、および報告に関するガイダンス
7. メソドロジーの詳細を完成させ、モデルの想定と限界をクライアントと共有



詳しくは次をご参照ください：[ice.com/sustainable-finance-data](https://ice.com/sustainable-finance-data)

本書の使用は、Intercontinental Exchange, Inc. および／またはその関連会社（「ICE グループ」）サービスの承認された顧客に限定されます。本書には、ICE グループの機密かつ専有財産である情報および／または営業秘密が含まれており、ICE グループの明示的な書面による同意なしに、出版、複製、複写、開示または使用してはなりません。

本書は、情報提供目的に限定して提供されています。ここに記載される情報は予告なしに変更される可能性があり、いかなる形式の保証、表明、約束も構成するものではありません。本書に記載されるいかなる内容も、ICE グループと、本書に記載されるいかなる商品またはサービスに関連するそれぞれの顧客との間の契約に含まれる法的権利および義務を変更するとみなされるものではありません。本書の内容は、法務、税務、会計やその他の専門的助言を構成することを意図していません。顧客は、固有の法務、税務、会計の状況に関して、弁護士や、税務、会計の専門家と相談する必要があります。

ICE グループは、国家に登録された統計的格付け機関として登録されておらず、本情報はいかなる企業または金融商品の信用度の評価を構成するものと解釈されるではありません。

利用可能な GHG 排出量情報は、該当する商品およびサービスに示されている通り、公表されている情報から集計されるか推定されたものです。

有価証券に関する債券評価、連続評価価格、引け後評価、評価曲線、モデルベース曲線、市場センチメントスコアおよび公正価値情報サービス (Fair Value Information Services) は、米国では ICE Data Pricing & Reference Data, LLC を通じて提供され、国際的に欧州とアジア太平洋地域では ICE Data Services の法人を通じて提供されます。ICE Data Pricing & Reference Data, LLC は、米国証券取引委員会に登録された投資顧問会社です。

ICE Data Pricing & Reference Data, LLC に関する追加情報は、SEC のウェブサイト ([adviserinfo.sec.gov](https://adviserinfo.sec.gov)) から入手できます。ICE Data Pricing & Reference Data, LLC のフォーム ADV の写しは、ご要望により提供可能です。

ICE グループの商標には Intercontinental Exchange、ICE、ICE block design、NYSE、ICE Data Services および New York Stock Exchange が含まれます。Intercontinental Exchange, Inc. および／またはその関連会社の追加的商標および知的財産権に関する情報は、[ice.com/terms-of-use](https://ice.com/terms-of-use) にあります。本書に述べられたその他の商品、サービスまたは会社名は、それぞれの所有者の財産であり、サービスマークまたは商標である可能性があります。

この文書は英語版を翻訳したものです。英語原文と日本語訳文との間に齟齬がある場合には、いずれも英語原文が優先するものとします。